

## 春の訪れを告げる花 ‘セツブンソウ’ が開花



セツブンソウ @こもれびの池 (2/3 撮影)

節分の頃に花を咲かせることから、その名がついた「セツブンソウ」。国営昭和記念公園（立川市・昭島市）でも直径約2cm程度の小さく愛らしい姿がぼつぼつと確認できるようになりました。‘春の訪れを告げる花’と言われ、養分を蓄えた塊茎（かいこん）から出た芽は、地温の上昇を感じると地上に顔を出します。地上で見られる期間は2～3月の間と短く、ほかの植物が休眠している時期に姿を見せ、春が終わる頃には姿を消してしまうという可憐で儚げな美しさが魅力です。昭和記念公園のセツブンソウは2月後半頃までご覧いただけます。ぜひ、取材・掲載のほどよろしくお願いたします。



### 【不思議なお花】節分草（セツブンソウ）

日本固有種ですが、自生している場所が少なく、環境省レッドリストでは、準絶滅危惧種に指定されています。白い花びらのように見えるのがガク（萼）片で、真ん中にくすみ桃色のめしべ、淡い紫色のヤク（葯）を持った数本のおしべに囲まれています。丸い黄色の部分为本当の花びらで、2股に分かれており蜜腺（みつせん）もあります。とても小さいため、屈んで見る必要がありますが、ぜひ、その色彩豊かで可愛い希少な花姿をご覧ください。

過去写真▶



### セツブンソウ開花場所

○周辺



### 【キバナセツブンソウ】花木園（ハーブ園近く）

明るい黄色が美しい「キバナセツブンソウ」。セツブンソウより一回り大きく、花は上向きで丸みがあるのが特徴です。花期は3月頃月上旬から中旬の予想。